

昭和 63～平成元年度調査・研究事業

## 冬季における東北の観光関連産業の活性化に関する調査 <青森県>

### 【概要】

東北の観光は、一般的に夏型であり、オフ・シーズンごとに冬季は閑散としているため、通年では収益性が低いという特徴をもっている。そのため、冬季の底上げを図り周年観光型に転換していくことが、大きな課題である。

そこで、青森県をモデルケースとして東北の冬季観光地の実態について調査を行い、その上で、今後の冬季の観光レクリエーションのあり方、外国での冬季の活動事例の実態を明らかにし、冬季における地域住民の活動の活性化、誘客方策のあり方等を提言した。

### 【対象市町村、モデル地域等】

青森県

### 【調査年度】

昭和 63～平成元年度

### 【提案・要請者】

青森県

### 【提言内容・その後の活動等】

早期に取り組むべき施策として、①イベントの内容・仕掛け方の工夫 ②旅行者・キャリア(交通機関)とのタイアップ ③NIES諸国からの誘致 ④スキー修学旅行の誘致 ⑤県レベルでの広域的連携 の5点を掲げた。また、長期的観点からは、①住民のレクリエーション活動の振興とダイナミックなウインタースポーツの普及 ②「みちのく・雪国体験村」(仮称)の建設 ③スキー場から通年リゾートへの脱却 ④人づくり ⑤持続的取り組み の5点を提言した。

### 【成果品】

報告書(在庫なし)

### 【調査体制】

委員会

### 【委員長・座長】

溝尾 良隆 立教大学教授

### 【事務局】(IVICTは除く)

羽田 耕治 (財)日本交通公社調査部地域調査室長

**【調査協力機関】**

(財)日本交通公社

**【視察先・ヒアリング先など】****【委員等】(分科会等は除く)**

小堤 博 東北通商産業局総務企画部地域振興課長

駒形 貞嗣 東北通商産業局商工部商工課長

花田 洋三郎 青森県商工労働部観光物産課長

山口 光男 日本興行銀行仙台支店審査役

平出 道雄 青森銀行仙台支店長

石垣 一彦 東日本旅客鉄道(株)東北地域本社営業部販売課長

中村 嘉宏 (社)青森県観光連盟理事

**【特記事項】****【区分】**

プロジェクト発掘・支援

平成 2 年度調査・研究事業

## ファインタブコピア田子クリエートプラン 《青森県田子町》

### 【概要】

ニューメディア・図書館・多目的ホール等多目的機能を持つ情報センター並びに地域とのパソコンネットワークを整備・活用し、いわゆる「農村情報化」を推進する。また情報化に対応した人材を草の根的に育成しつつ、情報を礎とした地域活性化を推進する。

平成 2 年 10 月 26 日 自治省リーディングプロジェクトに指定された。

### 【対象市町村、モデル地域等】

青森県田子町

### 【調査年度】

平成 2 年度

### 【提案・要請者】

青森県田子町

### 【提言内容・その後の活動等】

調査・コンサル機関等の紹介・斡旋によるノウハウを提供。

### 【成果品】

報告書(在庫無し)

### 【調査体制】

### 【委員長・座長】

### 【事務局】(IVICT は除く)

### 【調査協力機関】

### 【視察先・ヒアリング先など】

### 【委員等】(分科会等は除く)

### 【特記事項】

**【区分】**

プロジェクト発掘・支援

平成3年度調査・研究事業

**エネルギー関連教育機関立地調査 <青森県>**

**【概要】**

むつ小川原地域の振興のため、原子燃料サイクル施設及び関連施設等の立地を契機に、地域産業に根差した人材育成の一環として、青森県に「エネルギー技術関連教育機関」設置の可能性調査を実施した。

**【対象市町村、モデル地域等】**

青森県むつ小川原地域

**【調査年度】**

平成3年度

**【提案・要請者】**

青森県

**【提言内容・その後の活動等】**

「エネルギー技術関連教育機関」を設置・存続させるための必要条件およびその可能性について調査、提案した。

**【成果品】**

報告書(在庫なし)

**【調査体制】**

委員会

**【委員長・座長】**

**【事務局】(IVICTは除く)**

**【調査協力機関】**

(株)月環協

**【視察先・ヒアリング先など】**

**【委員等】(分科会等は除く)**

**【特記事項】**

**【区分】**

プロジェクト発掘・支援

平成 16 年度調査・研究事業

## 八戸地域における産業観光事業化プロジェクト 《青森県八戸市》

### 【概要】

八戸市は、東北新幹線八戸駅開業を契機に、誘客宣伝や受入態勢の充実など官民一体となった観光振興に取り組み、順調に成果を上げてきている。しかしながら、東北新幹線の青森延伸により、八戸駅はやがて通過駅となることから、新たな観光への取り組みが求められている。

一方、産業観光は新たな観光分野として期待が高まっており、東北経済産業局が平成 15 年度に実施した「東北地域における産業観光を活用した地域振興策に関する調査研究」において、八戸地域は、水産業を資源とした産業観光の可能性があることや、市が取り組んでいる資源循環型産業の振興の面から、環境を切り口とした産業観光の展開も期待できるなど、産業観光のポテンシャルが高い地域である。

本事業は、八戸市の要請を受け、八戸地域の実情や潜在能力を活かした産業観光の具体的な展開を目指して、地域の機運醸成や受入態勢構築など継続性のある事業シナリオの検討を行った。

### 【対象市町村、モデル地域等】

八戸地域(八戸市、三戸町、五戸町、田子町、名川町、南部町、階上町、福地町、南郷町、新郷村、百石町、下田町の 12 市町村)。

### 【調査年度】

平成 16 年度

### 【提案・要請者】

青森県八戸市

### 【提言内容・その後の活動等】

本調査では、八戸地域における従来観光の多様化による観光振興と、地域産業の活性化を目指した産業観光の推進を図るため、当面の取り組みを支える受入態勢、事業展開、モデルコース、今後の課題について検討した。受入態勢面では、情報の発信窓口の一本化や視察・研修旅行を受け入れるための組織・体制が必要であり、「総合調整機関」「コーディネート機関」「検討組織(WG)」の3つのモデルを示し、それぞれの組織構成と役割を提案している。当面の事業展開にあたっては、一般者や地域の教育機関を対象とした「視察・研修旅行」を展開することとし、地域の企業・施設等に広く協力を呼びかけ、受入企業・施設等を確保するとともに、データベース化を図る。

また、ガイドの登録・育成のほかPRイベント・ツアーの企画・開催に取り組むことも必要である。モデルコースの検討にあたっては、環境、水産、食をテーマとしたコース設定、体験メニューやストーリー性を考慮した内容、さらには定常的ではなく、多様かつ柔軟性あるコース企画が期待される。

今後の課題としては、総合調整機関が産業観光資源となる受入可能な企業・施設の確保とデータベース化に積極的に取り組み、コーディネート機関には地域と視察者とのワンストップ窓口としての機能発揮が求められる。また、地域に対しては産業観光についての理解浸透と協力要請、地域外に対しては八戸の魅力の発信・PRを展開することが求

められる。さらに、産業観光のテーマに即した産業界のOBや大学教員等をガイドとして育成することや、地域一体となった取り組みを展開するための組織づくりが重要である。

#### 【成果品】

報告書(在庫なし)

#### 【調査体制】

ワーキング・グループ

#### 【委員長・座長】

河村 信治 国立八戸工業高等専門学校総合科学科助教授

#### 【事務局】(MICTは除く)

若狭 正俊 八戸商工会議所中小企業相談所長  
村井 節夫 八戸商工会議所中小企業相談所振興課長  
北山 和久 八戸商工会議所中小企業相談所振興課  
中村 裕之 八戸市経済部観光課観光物産グループリーダー  
金岡 省吾 株式会社UFJ総合研究所経済社会政策部主任研究員  
小谷 幸司 株式会社UFJ総合研究所経済社会政策部研究員

#### 【調査協力機関】

株式会社UFJ総合研究所

#### 【視察先・ヒアリング先など】

地域の関係機関等を中心にヒアリング調査を実施。

#### 【委員等】(分科会等は除く)

武輪 俊彦 武輪水産株式会社代表取締役社長  
東 洋幸 太平洋金属株式会社取締役製造本部長  
留目 定明 三八五観光株式会社常務取締役営業本部長  
松村 忠志 南部バス株式会社観光部長  
福田 昭良 NPO法人循環型社会創造ネットワーク専務理事  
佐藤 誠剛 青森県立五戸高等学校進路指導主事  
松倉 新一 社団法人八戸観光協会専務理事  
田村 暢英 社団法人八戸市物産協会常務理事  
大岡 長治 八戸市経済部観光課長  
根城 秀峰 八戸商工会議所青年部副会長  
中村 正明 八戸商工会議所青年部副会長

松尾 明 八戸商工会議所青年部理事・広域連携委員長

**【区分】**

プロジェクト発掘・支援